

ZENRIN

証券コード：9474

株式会社ゼンリン 会社説明会

2019年11月29日

株式会社 **ゼンリン**
Maps to the Future

代表取締役社長

高山 善司

取締役常務執行役員

松尾 正実

執行役員コーポレート本部長

戸島 由美子

1. 新中長期経営計画(ZGP25)

1-1. 事業環境

1-2. 基本方針

1-3. 数値目標

1-4. 事業区分別取り組み、事業別売上高、事業トピック

2. 2020年3月期 通期業績予想、第2四半期決算概要

2-1. 通期業績予想

2-2. 第2四半期決算概要

2-3. 事業別売上高

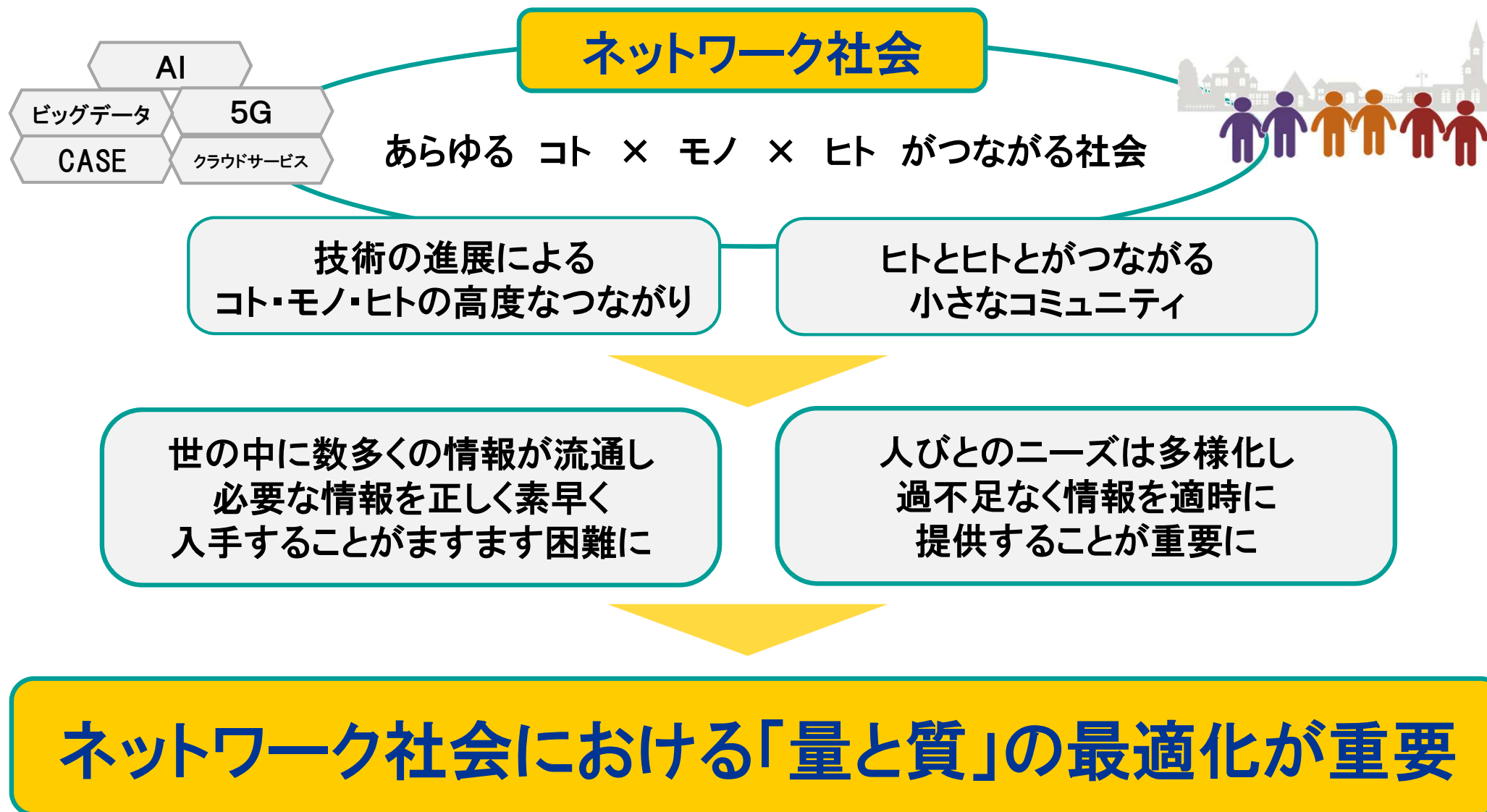
2-4. 配当金

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「-」表記しております。

1. 新中長期経営計画(ZGP25)

- 1) 事業環境
- 2) 基本方針
- 3) 数値目標
- 4) 事業区分別取り組み



ネットワーク社会における「量と質」の最適化

～ 位置情報と流通情報を最適化して価値創造 ～

事業
(コト)

リアル
ネットワーク

I. 利用用途をつなげて「コト」を価値化

生産
(モノ)

ロケーション
ネットワーク

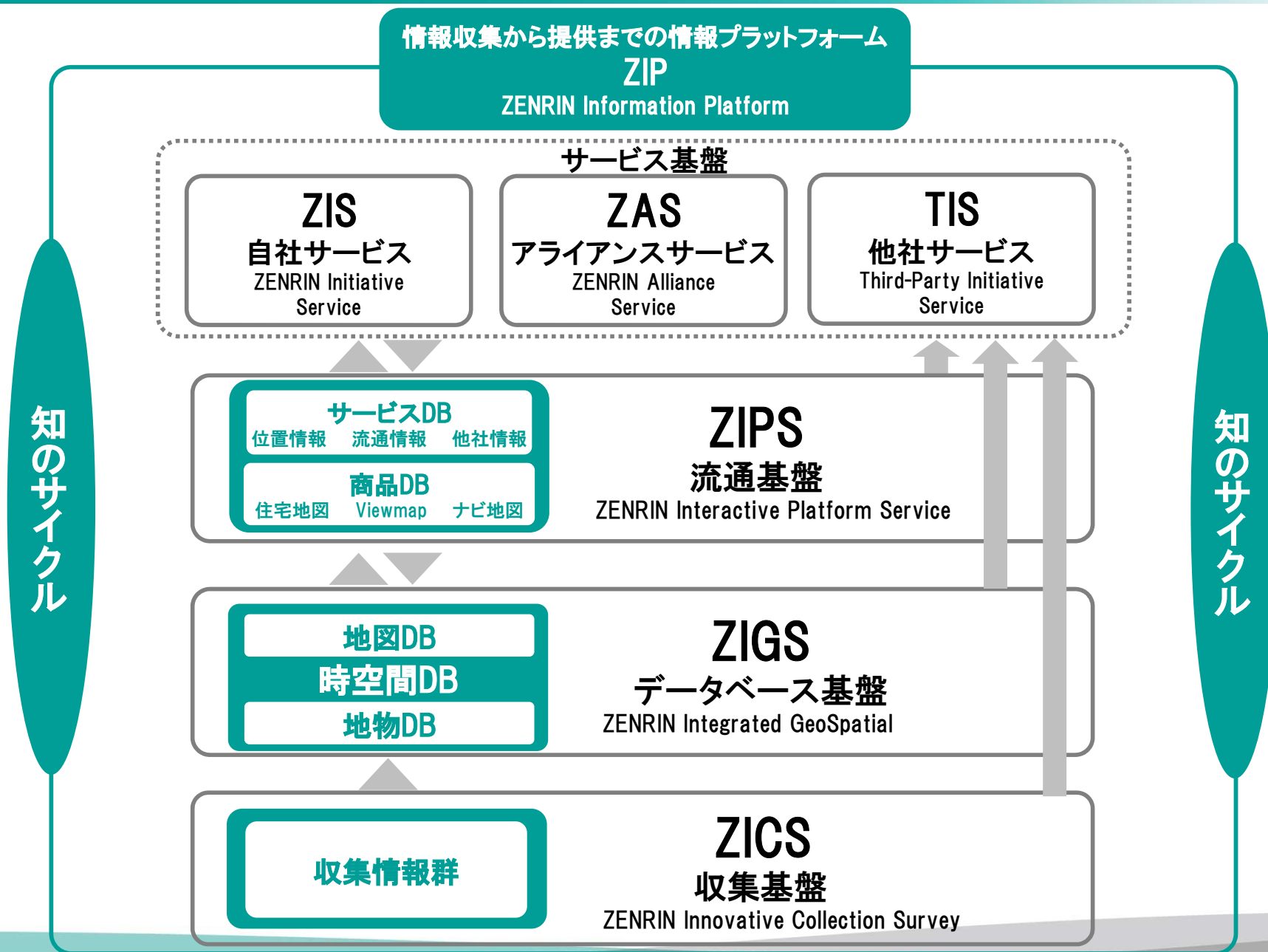
II. 位置情報をつなげて「モノ」を多様化

機能
(ヒト)

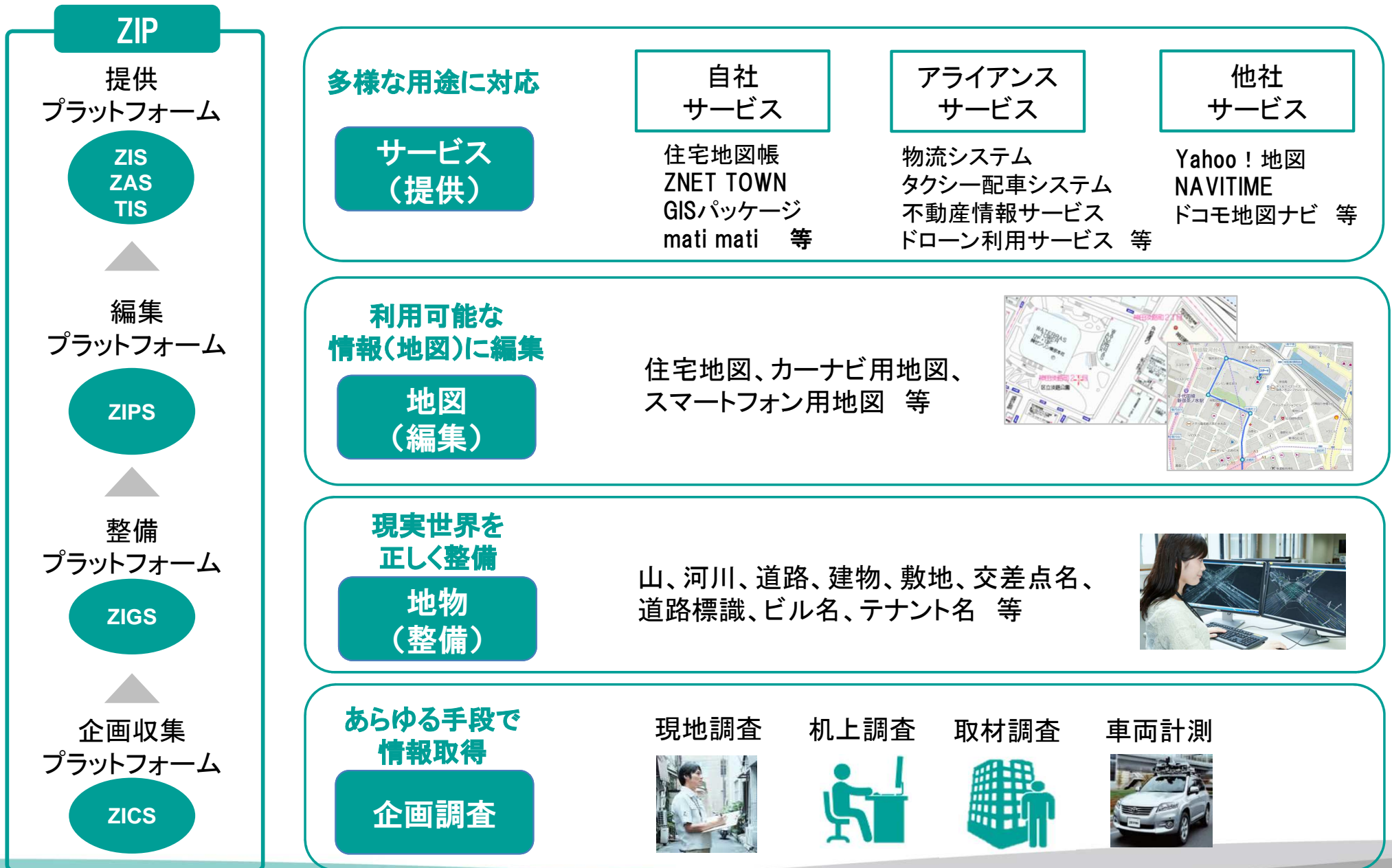
ヒューマン
ネットワーク

III. 個の知恵をつなげて「ヒト」を人財化

1-2) 基本方針（事業基盤となるZIP）



【ZIPの解説】 1-2) 基本方針（事業基盤となるZIP）



様々な収集情報群を「データベース基盤」で管理最適化し
「流通基盤」で利用最適化することで、サービスの価値連鎖を起こし、
位置情報利用における顧客価値を増大

| | | |
|-----|------------------------------|--|
| I | フロー型ビジネス (所有) | 利用価値の高い「コト的要素」を入れた「モノ的サービス」を顧客に提供し、その都度に収益を得るプロダクトビジネス |
| II | ストック型ビジネス (常用利用) | 顧客が常に安心して利用できる仕組みを構築し、定期・定額でサービスを提供し、継続的収益を得るライセンスビジネス |
| III | サブスクリプション型 ビジネス (適宜利用) | 顧客の適宜要望(ちょうどいい)に対応するサービスを提供し、小口の都度収益を積み重ねるオンデマンドビジネス |
| IV | ハイブリッド型ビジネス (組み合わせ利用) | 上述 I・II・IIIのビジネスモデルを組み合わせることで、より価値の高いサービスを提供し、継続的収益を得るビジネス |

1-2) 基本方針（ビジネスモデルの定義）

<ZGP25におけるビジネスモデルの定義>

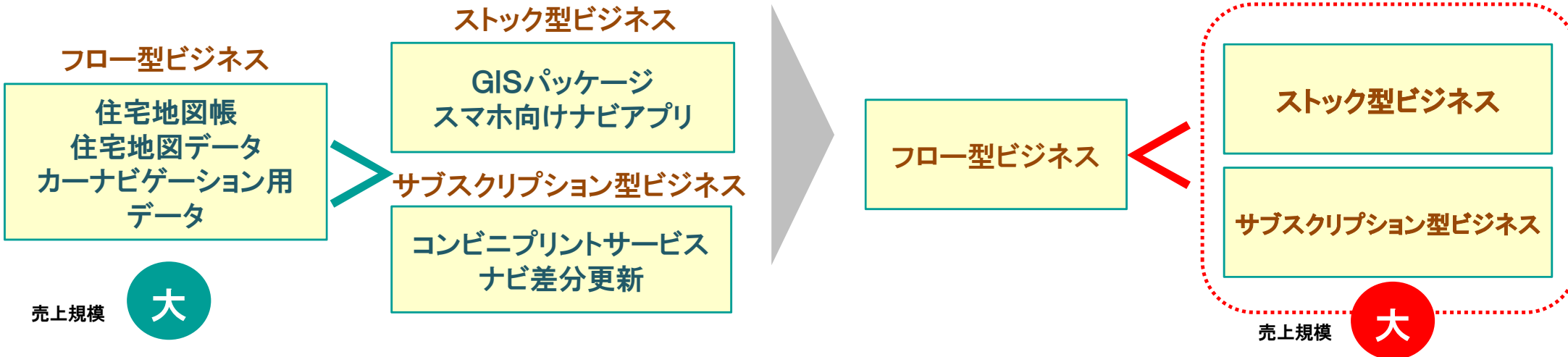
ストック型ビジネス(常用利用)
「常時必要」なサービスを定額料金で利用
いつでもすぐに使える安心感を実現

サブスクリプション型ビジネス(適宜利用)
「時々必要」なサービスを低額料金で利用
ちょっとしたコトにも使える最適感を実現

<既存製品・サービスと売上規模イメージ>

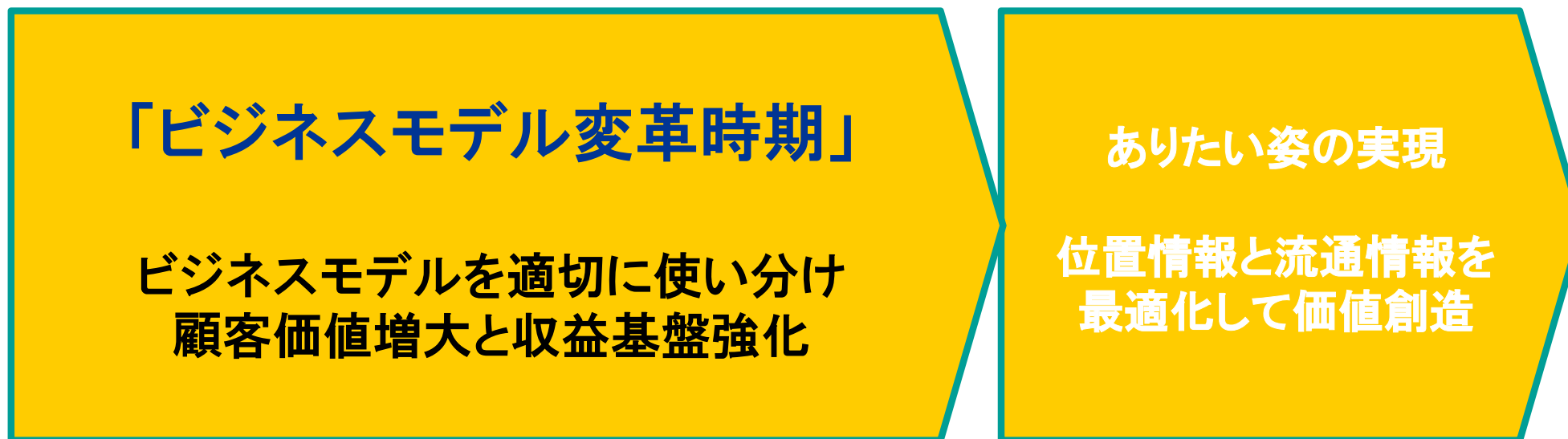
2019年3月期

2025年3月期



※フロー型ビジネス(所有):商品・サービスを提供し、その都度に収益を得るプロダクトビジネス

1-3) 数値目標 (ZGP25の位置づけ)



ZGP25 1st ステージ は将来の安定成長を目指した
「ビジネスモデル変革時期」



「モノからコトへ」を具体化



「単発取引」から「継続取引」



「DB提供」から「サービス提供」



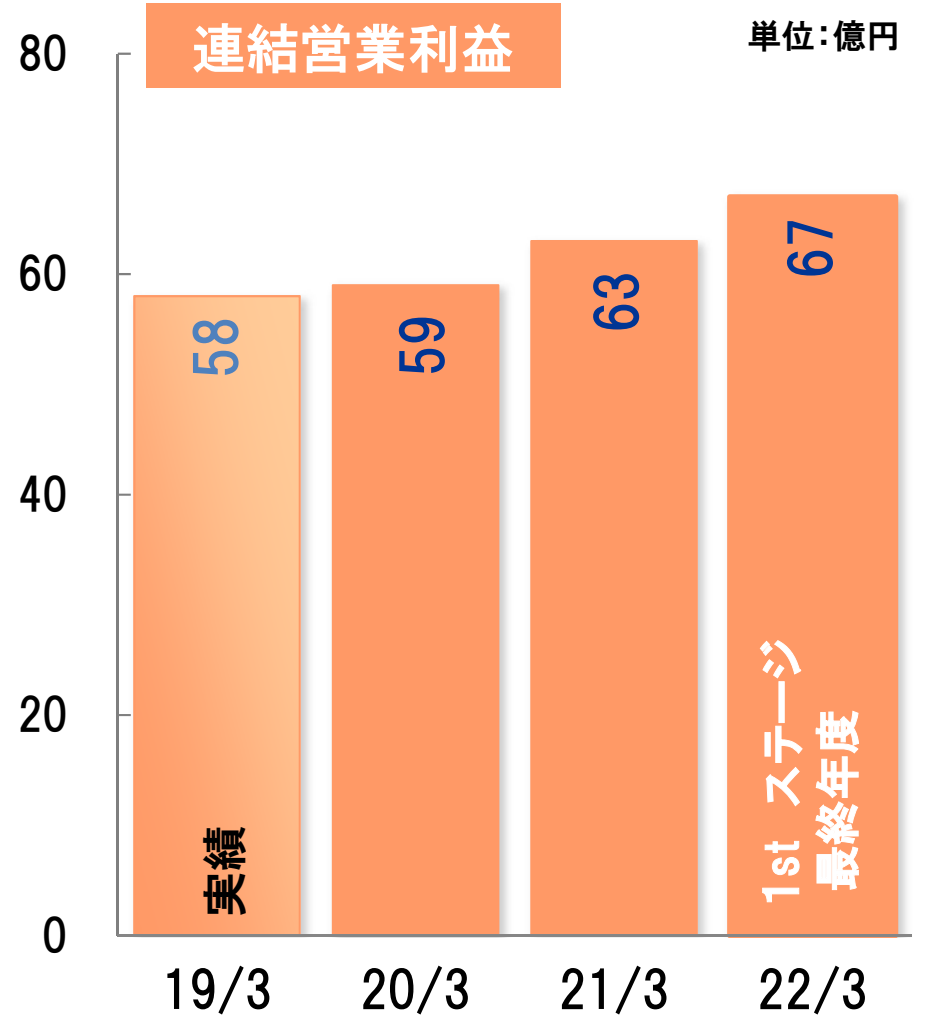
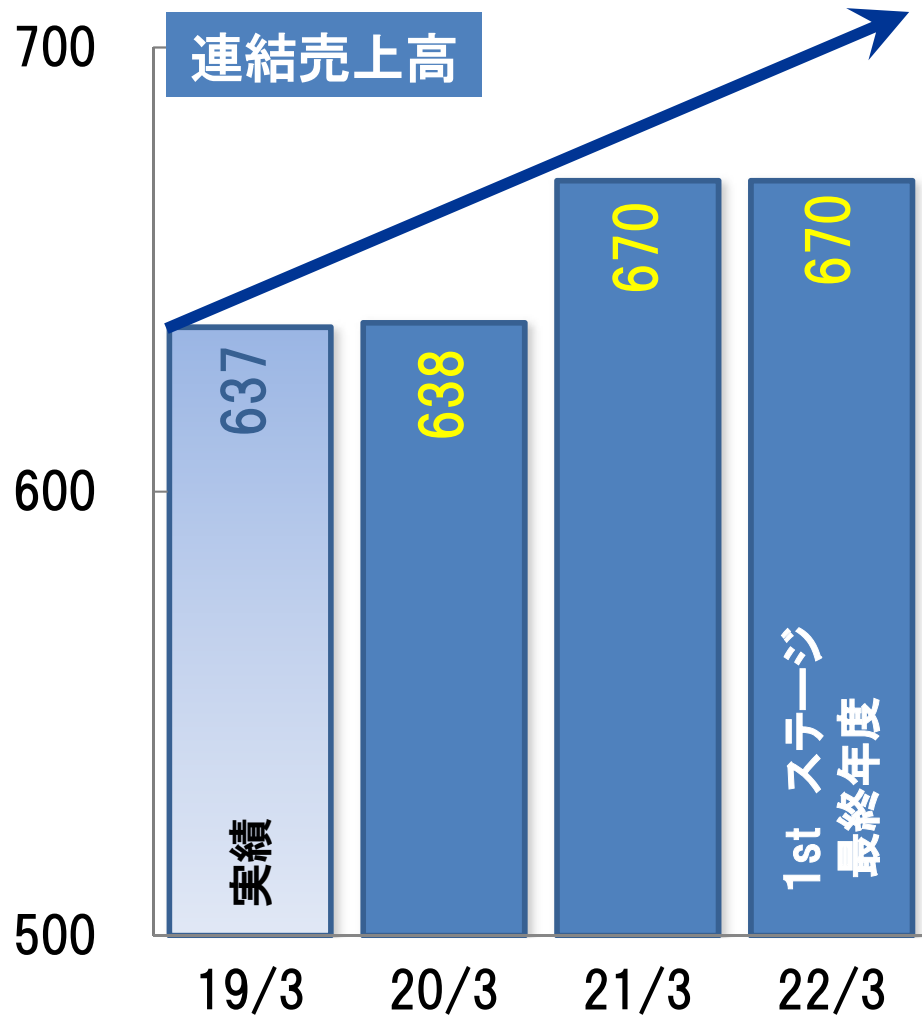
一時的な業績への影響

1-3) 数値目標

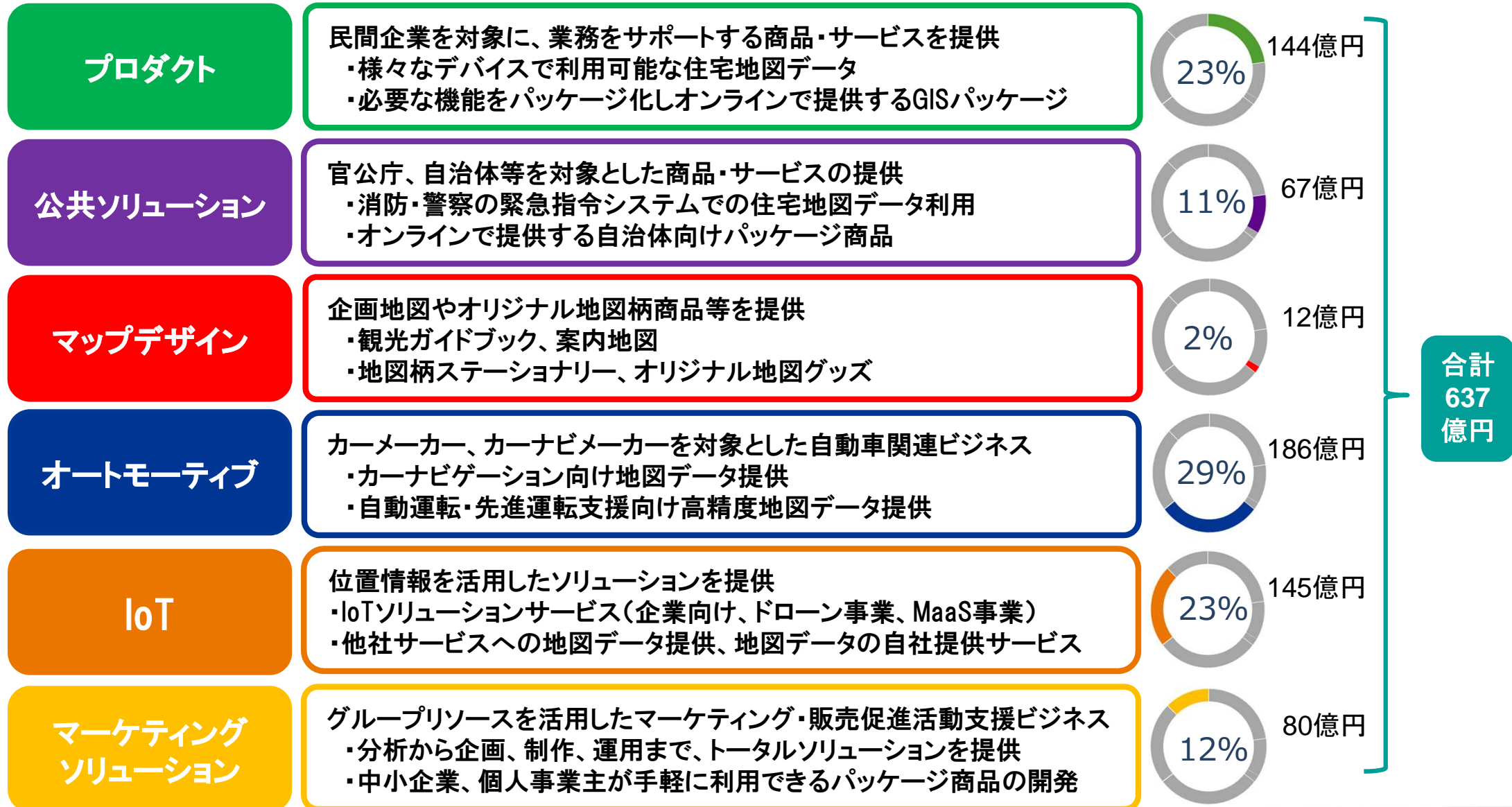
| | 1st ステージ | | | 2nd ステージ 6年目 |
|---------------------|----------------|----------------|-----------------|------------------|
| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | |
| | 2020年3月期 予想 | 2021年3月期 目標 | 2022年3月期 目標 | 2025年3月期 指標 |
| 連結売上高 | 638億円 | 670億円 | 670億円 | 800億円 |
| 連結営業利益 (利益率) | 59億円 (9.2%) | 63億円 (9.4%) | 67億円 (10.0%) | 100億円 (12.5%) |
| ROE (自己資本当期純利益率) | 9.7% | 9.7% | 9.7% | 10%以上 |
| DOE (株主資本配当率) | 3.0%以上 | 3.0%以上 | 3.0%以上 | 3%以上 |

1-3) 数値目標 (1st ステージ)

ZGP25 1st ステージ は安定成長を目指した「ビジネスモデル変革時期」

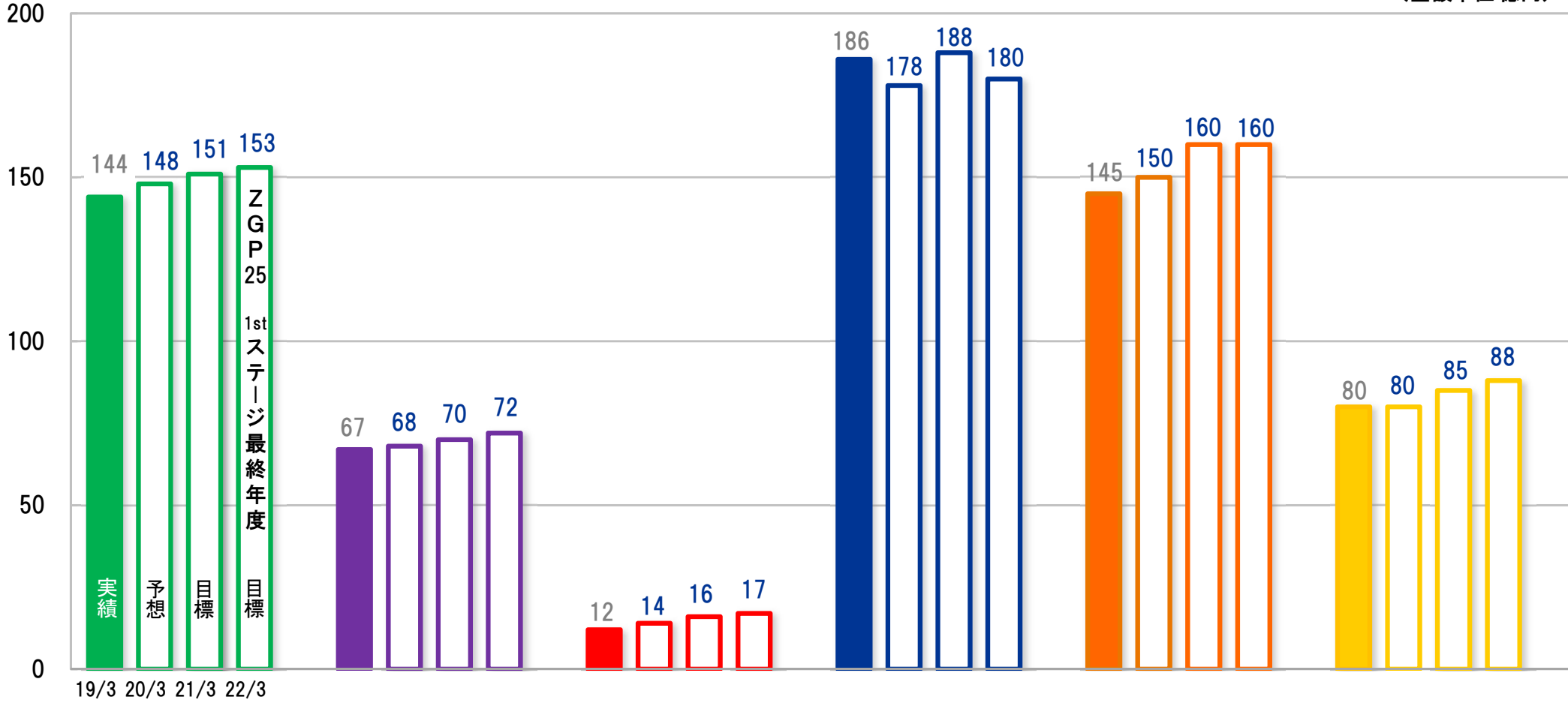


2019年3月期 事業別売上高



1-4) 事業別売上高 (実績とZGP25 1stステージ目標数値)

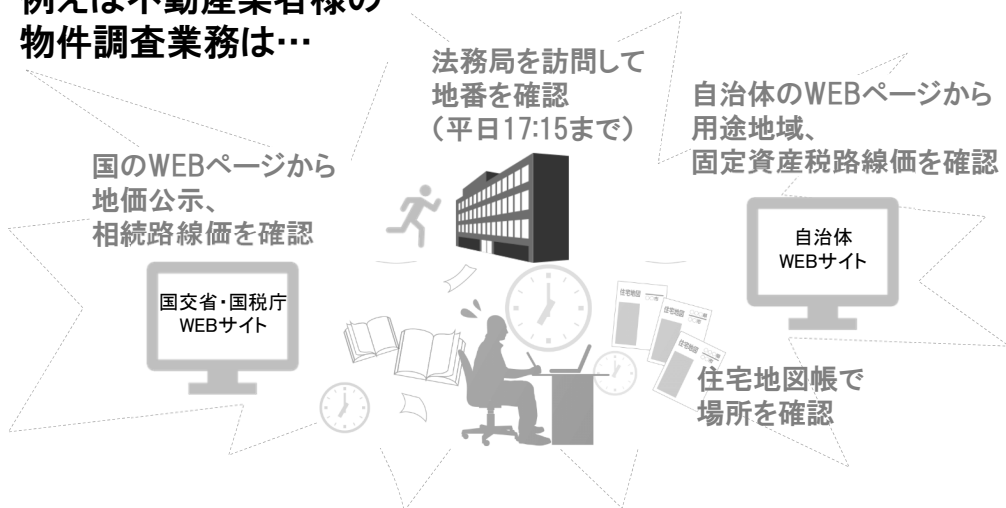
(金額単位:億円)



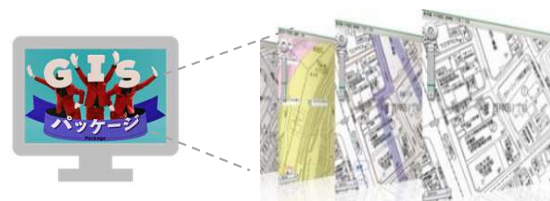
| 19/3 | 19/3 | 19/3 | 19/3 | 19/3 | 19/3 | |
|------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|----------------|
| ↓ | プロダクト | 公共ソリューション | マップデザイン | オートモーティブ | IoT | マーケティングソリューション |
| 20/3 | +3 (+2.2%) | +0 (+0.0%) | +1 (+16.5%) | △8 (△4.5%) | +4 (+2.7%) | △0 (△0.3%) |

業務に必要な様々な情報をワンストップで提供！ 中小事業者の業務の効率化をサポート

例えば不動産業者様の
物件調査業務は…



「GISパッケージ不動産」なら、業務に必要な
最新の地図データを24時間いつでも利用可能
クラウド型サービスで面倒なインストールや設定も不要！



(搭載コンテンツ)
住宅地図、ブルーマップ、
用途地図、地価公示、
地価調査、相続税路線価、
固定資産税路線価

(機能)
検索、計測、描画、印刷、
衛星画像確認機能等

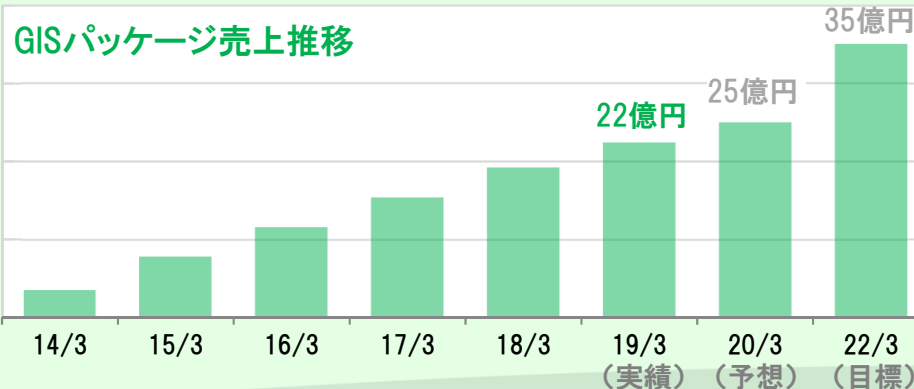
月額10,000円～
※税別、1都道府県1ID単位

【ZENRIN GISパッケージ シリーズ】

※価格は税別、1都道府県1ID単位

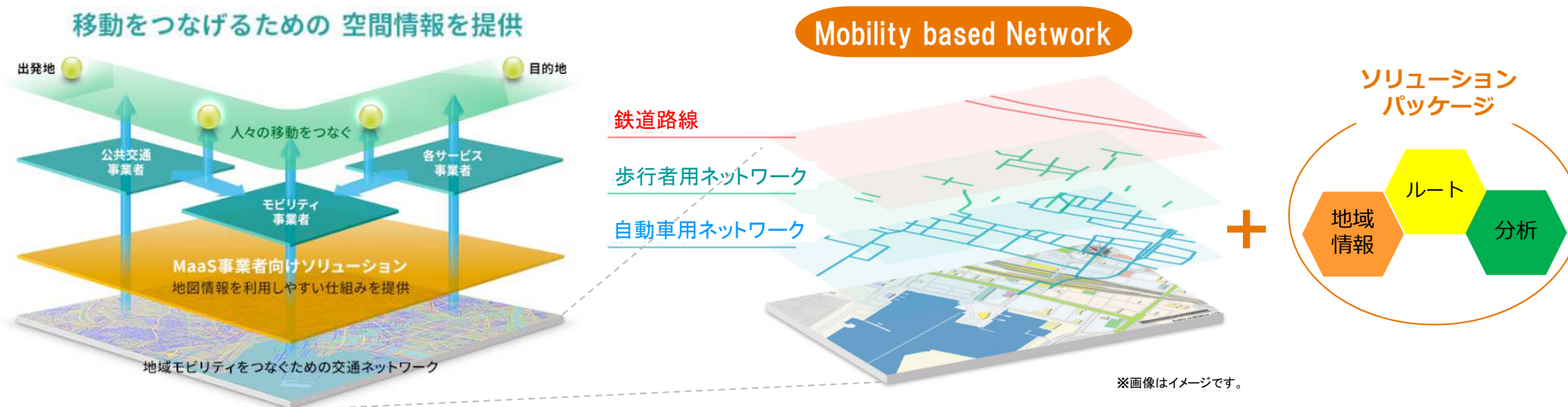
| | | | |
|-----------------|-------|-------------------------------|----------------|
| GISパッケージ 不動産 | プレミアム | 情報収集から営業まで 業務全体をサポート | 月額 20,000円～ |
| | ライト | 土地調査業務にかかる 様々な手間を解決 | 月額 10,000円～ |
| GISパッケージ建設 | | 不動産賃貸仲介業務の接客時に 必要な情報・機能を提供 | 月額 2,980円～ |
| GISパッケージ不動産鑑定士 | | 建設業に携わる方々の 帳票作成をサポート | 月額 10,000円～ |
| GISパッケージ税理士 | | 不動産評価や コンサルティング業務の負担軽減 | |
| | | 相続税申告業務にかかる 様々な手間を解決 | |

ストック型ビジネスで安定収益基盤に成長



MaaSを実現する空間データベース「Mobility based Network」

地図上で「移動」を可視化し、空間情報として様々な事業者に提供することで、人々の「移動」をつなぐ

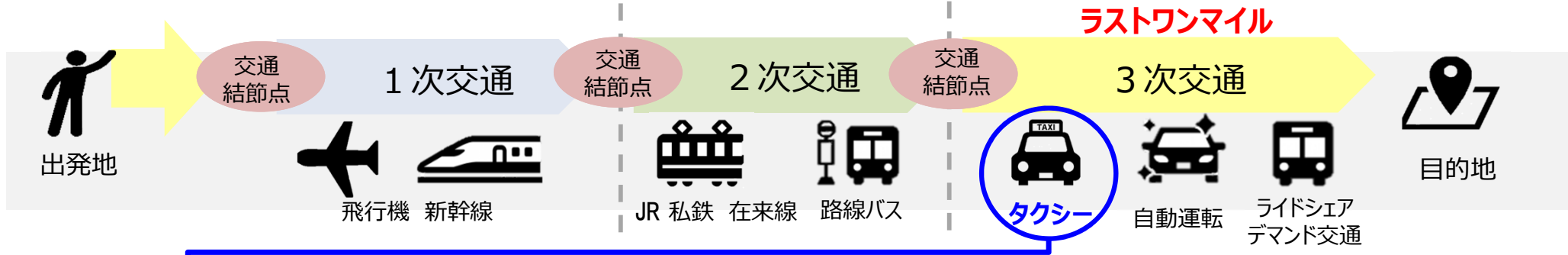


1つの空間上であらゆるモビリティを可視化できるゼンリンの「Mobility based Network」。自動車用ネットワーク、鉄道路線、駅構内通路、歩行者用ネットワークなど、移動に必要なあらゆるネットワークを組み込み、各ネットワークが交通結節点(各種の交通手段が結節する場所)で接続することにより、MaaSに最適な情報提供を実現。

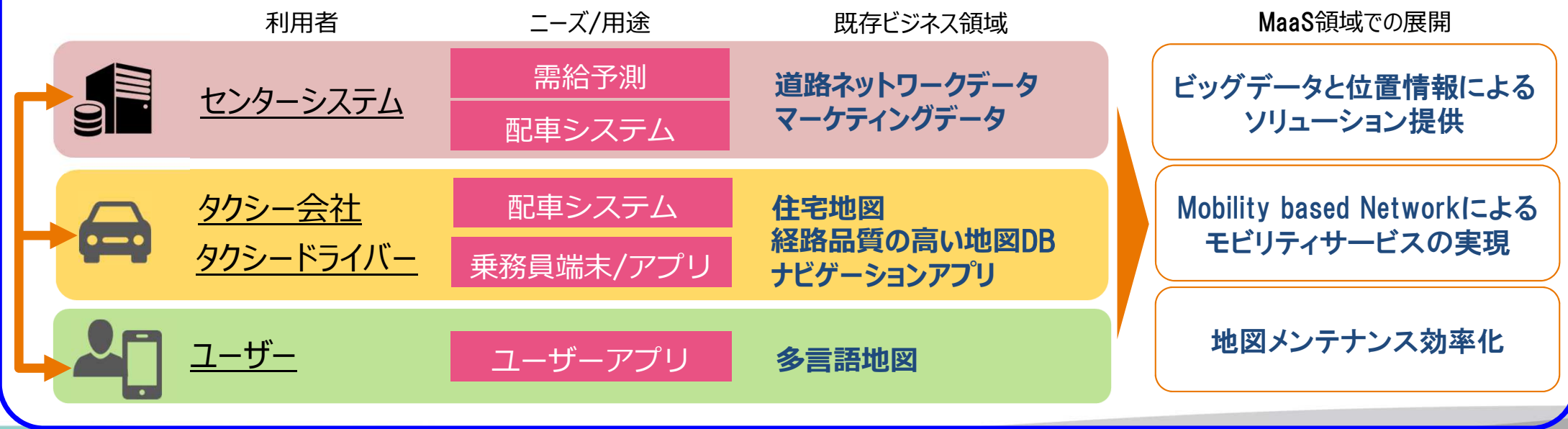
Mobility Based Networkと3つのソリューション機能(地域情報のデジタル化ツール、最適ルートの提供、ビッグデータ分析)をMaaSオペレーターに提供し、あらたなモビリティサービスを創出。

3次交通としてラストワンマイルを担う重要なモビリティであるタクシー業界との提携

IT化が進むタクシー業界において、利便性・快適性を向上させる次世代タクシー配車アプリに注目が集まる



【タクシー配車システム】



2. 2020年3月期 通期業績予想、第2四半期決算概要

- 1) 通期業績予想
- 2) 第2四半期決算概要
- 3) 事業別売上高
- 4) 配当金

2-1) 通期業績予想

2020年3月期 通期業績予想について

現段階においては、概ね計画通りに進捗しており、当社グループの売上高及び利益が第4四半期に集中する傾向にある為、2019年4月26日に公表した通期業績予想から変更なし

前期比【増収増益(前期レベル)】

- オートモーティブ事業(ADAS関連)の減収の影響はあるものの、プロダクト事業及び公共ソリューション事業のストック型ビジネスの伸張、IoT事業のソリューションビジネスの拡大
- 生産性向上・業務効率化等により、前期と同規模の利益を確保
(親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に発生した「のれんの減損損失」の反動増による増益を含む)

(金額単位:百万円)

| | 2019年3月期 実績 | 2020年3月期 予想 | 前期比 | 増減率(%) |
|---------------------|----------------|----------------|-------|--------|
| 売上高 | 63,747 | 63,800 | 52 | 0.1 |
| 営業費用 | 57,923 | 57,900 | △23 | △0.0 |
| 営業利益 | 5,824 | 5,900 | 75 | 1.3 |
| 営業利益率 | 9.1% | 9.2% | 0.1pt | |
| 経常利益 | 6,200 | 6,300 | 99 | 1.6 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 3,206 | 4,000 | 793 | 24.7 |

(金額単位:百万円)

2-2) 第2四半期決算概要

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する四半期純利益

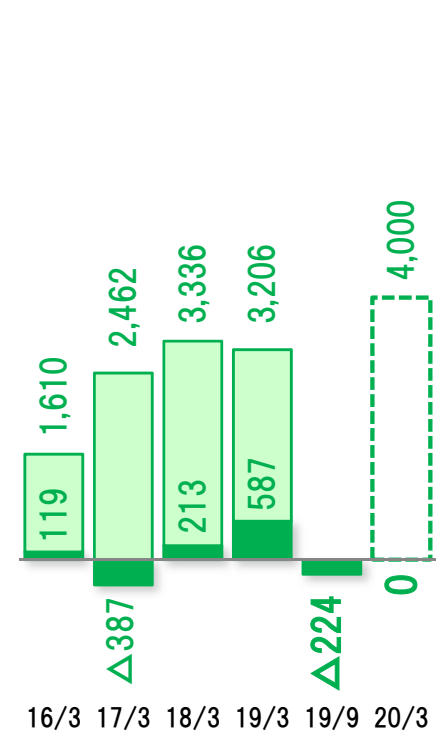
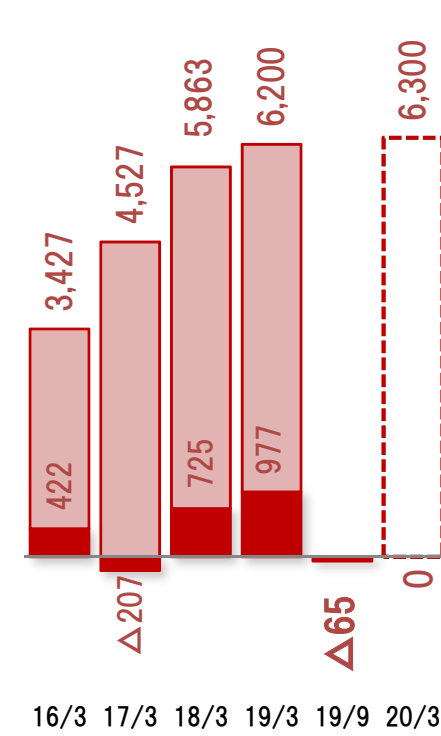
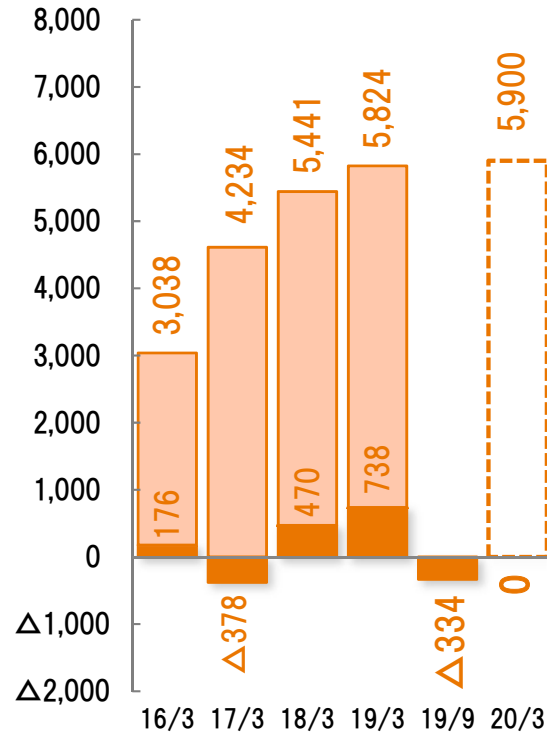
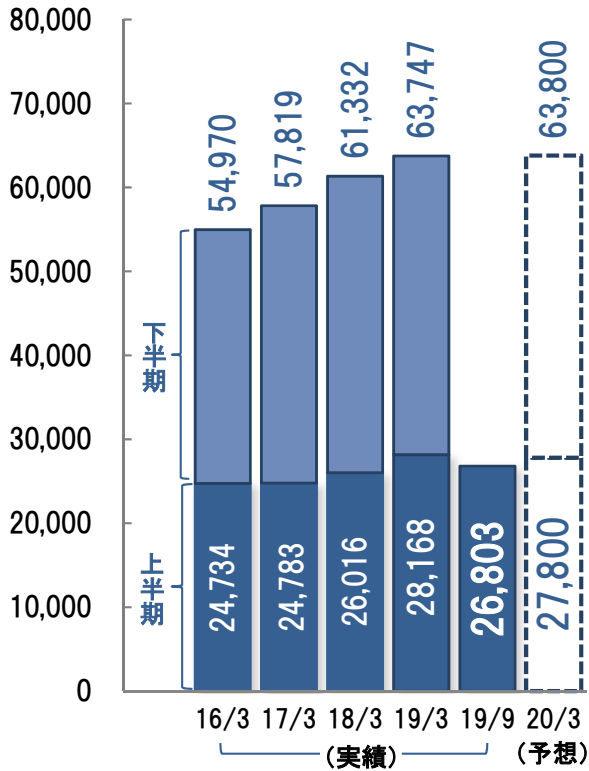
前年同期比

1,364減少 (△4.8%)

1,073悪化 (-)

1,043悪化 (-)

811悪化 (-)



第2四半期実績

5期ぶり減収

前期利益 → 損失

通期業績予想

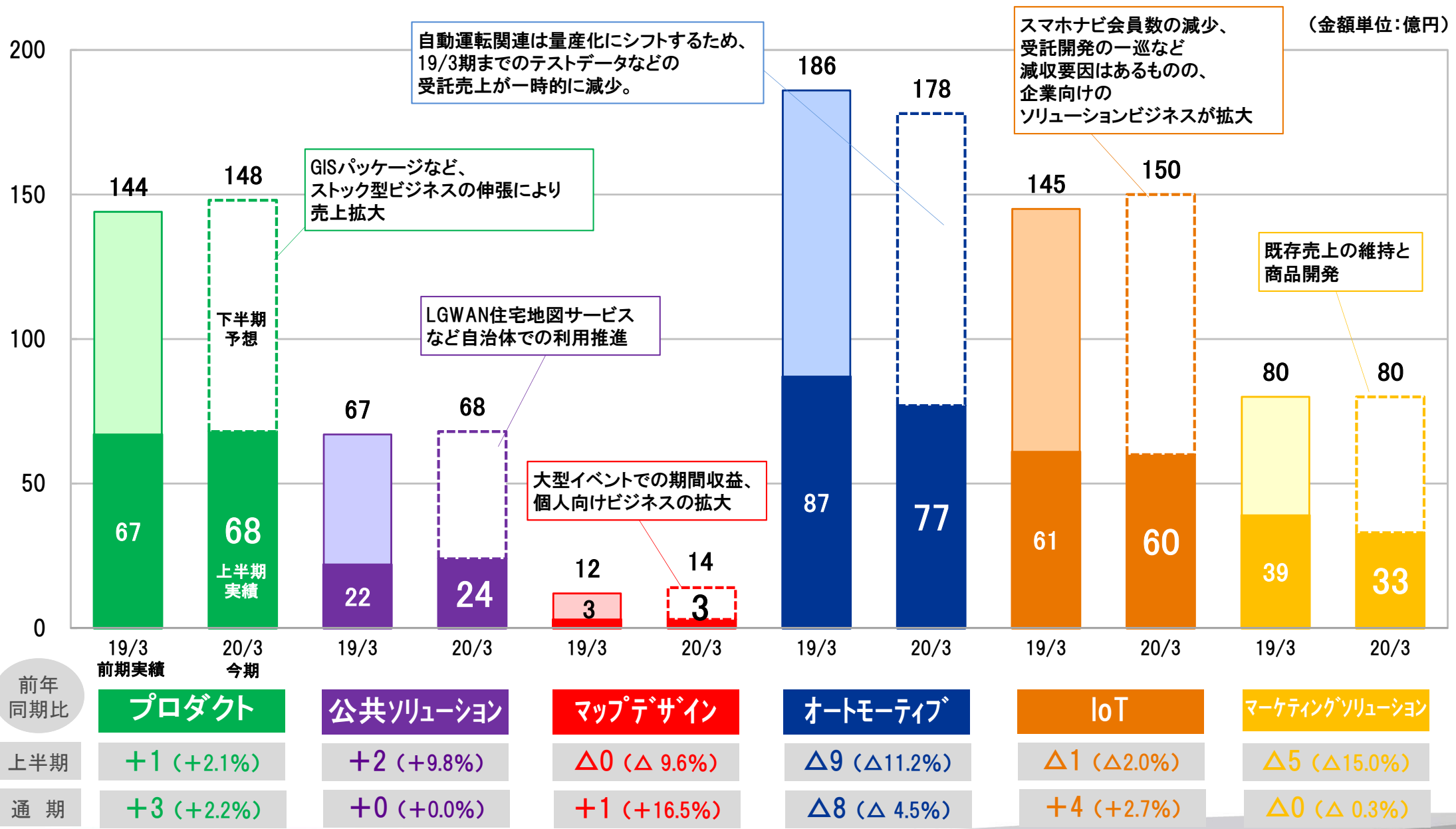
5期連続増収

5期連続増益

5期連続増益

2期ぶり増益

2-3) 事業別売上高



ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail : zenrin-ir@zenrin.co.jp